

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 相模原市立青和学園

① 学習指導案

プログラム	No. 8 「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」
単元名 (全 時間)	青根・青野原地区の地域活性化とメディア 6校時(全30時間)
学習のねらい	青根・青野原地区における地域活性化に関する調査活動をととして ①地域活性化は人々の生活や地域の特徴と深く関わっていることを理解し、 ②持続可能な視点から多面的に地域活性化の在り方について考えるとともに ③自らの生活や行動に生かすことができるようにする。
学習内容	1 青根・青野原地区のよさについて(人やもの) 2 青根地区、青野原地区フィールドワーク 3 撮影した写真や動画についての発表会、発表方法の検討会 4 学校祭での展示活動
参考資料 準備品 実施場所等	

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1 時 間	○青根・青野原地区のよさについて考える。  ○青根・青野原地区にある文化財について考える。  ○青根・青野原地区で生活する人について考える。  ○青根・青野原地区のよさを再認識し、地域活性化の視点で取材対象を検討する。	○昨年度のやませみ校外学習、焼き杉体験、川遊び、事業所体験、などを振り返る。  ○先日の鎌倉校外学習を振り返り、文化財についても確認する。  ○保護者、事業所の方々からの話を思い出し、どんな気持ちで生活して、仕事をしていたのかを確認する。  ○地域活性化の視点がふれないように注意する。	○視点を意識して取材対象を選べているかどうか。(授業観察)
2 時 間	○青野原地区へ取材や撮影を行う。  ○青根地区へ取材や撮影を行	○自然、文化財、生活する人という視点で記録する。	○自然、文化財、生活する人が一体となって構成されていることに気づ



	う。		く。(振り返り)
1 時 間	○取材・撮影したものを参考に、青根・青野原地区のよさについて考える。  ○地域活性化を視点に、どのようにまとめるかを考える。	○見た目ではなく、願いや思いに気づくことができるように視点を状況に合わせて確認する。  ○学校祭の展示を意識してメディアを上手に活用できるようにする。	○願いや思いに気づけているかどうか。(授業観察)  ○視点を意識してまとめられているかどうか。(提出物)
1 時 間	○学校祭に展示して、感想をもらい、今後の地域活性化について考える。	○感想を効率的に集約し、フィードバックできるようにする。	

<留意点>




- ・写真撮影、取材、まとめなどの場面で、ゲストティーチャーを活用する。

② 事業実施報告書詳細

学校名 相模原市立青和学園

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1 時 間	8 年 教 室	○青根・青野原地区のよさについて考える。  ○青根・青野原地区にある文化財について考える。  ○青根・青野原地区で生活する人について考える。  ○青根・青野原地区のよさを再認識し、地域活性化の視点で取材対象を検討する。	○よさについて考える   ○文化財を調べる 	○地区のいいところは自然である。  ○マップで文化財があることに気づいた。  ○昔から住んでいる人と、この地区を選んで引っ越してきた人がいる。
	青野原 地区	○青野原地区へ取材や撮影を行う。		○農地と開発された土地の2種類に分かれていること

2 時 間	青根 地区	<p>○青根地区へ取材や撮影を行う。</p> <p>○取材・撮影したものを参考に、青根・青野原地区のよさについて考える。</p> <p>○地域活性化を視点に、どのようにまとめるかを考える。</p>	<p>○青野原地区を散策</p>   <p>○監視哨を調べる</p>  <p>○諏訪神社の大杉</p> 	<p>に気づく。</p> <p>○古民家に価値があることが分かる。</p> <p>○地域の方も地域活性化に取り組んでいることを知る。</p> <p>○700年樹木や神社のすごさに気づく。</p>
2 時 間	8 年 教 室	<p>○取材・撮影したものを参考に、青根・青野原地区のよさについて考える。</p> <p>○地域活性化を視点に、どのようにまとめるかを考える。</p>	 <p>○地域活性化について話し合う。</p>	<p>○文化財のよさに気づく。</p> <p>○地域のよさに気づき、それをいろいろな人に知ってほしいと考えた。</p>

			 <p>○撮影した写真をもとに、話し合う。</p> 	
1時間	体育館	○学校祭に展示して、感想をもらい、今後の地域活性化について考える。	○学校祭の展示を見て、話し合う。	

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>総合的な学習の時間で青根・青野原地区の地域活性化という年間をとおして取り組む活動があり、その取り組みの中の一部に自然な形で「わたしたちのまちに言葉の贈りもの」を入れるところを工夫しました。また、自分たちが撮影した写真を学校祭で展示するということで、地域の方や義務教育学校の1～3年生にも見てもらえるような展示を心がけました。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>地域に取材に行くときに天候や引率の関係で準備面が大変でした。また、地域活性化とメディアという学習内容だったので、取材して撮影した素材を地域活性化マップにつなげていくところで、地域の様々な方に協力してもらったが、広がり過ぎて収集がつかなくなってしまう</p>

ったところが苦勞しました。

### (3) 児童の反応

自分たちが住む街の写真を撮影することが、地域再発見につながったようで、楽しみながら撮影をして取材をしていました。

また、ただの古民家が、他地区に住む人たちにとって魅力のあるものだということに気づいたようで、その様子は興味深いものであった。

### (4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

子どもたちが楽しそうに活動をしている様子を見て、学級担任以外で協力してくれた先生方にとっても、いい刺激になったようでした。また、今回は助成を受けた活動でしたが、助成を受けなくても、ある程度のことのできることも分かったので、次年度以降もこのような取り組みを検討するようでした。

### (5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

学習前の生徒の言動からは、田舎に住むより、都会に住みたいと考えている生徒が多いため、身の回りの文化財や建物などの町並みや景観の価値を再発見する場面には工夫が必要だと強く感じました。

まちの景観を調べたときに「これは何だろう」とような新しい発見や気づきがあり、教員側にもある程度の知識がないと、学習内容に深まりが出てこないなので、下調べにかなりの時間を要することになりそう。